

猫エイズ（FIV）ってなに？

FIV（猫免疫不全ウイルス）により引き起こされる諸症状のことを猫後天性免疫不全症候群と言い、俗に猫エイズとも言います。

人のエイズ（HIV）とは全く別のウイルスで、人にも、犬など猫以外の動物にも、感染することはありません。

感染してもすぐに発症するわけではありません。何年も元気に過ごす子がたくさんいます。なかには、10年以上変わらず穏やかに暮らし、発症せずに天寿をまとうする子もいます。

“感染=短命”ではなく、適切な環境やケアによって健康な猫と変わらない生活を送れるケースも多いのです。

FIV感染のしくみ

主な感染経路は、猫同士のケンカによる咬み傷です。
まれに交尾による感染や、
胎盤や母乳による感染（母猫から子猫への感染）
もあります。

同じ食器を共有したり、触れ合ったりする程度では、
感染リスクは低いとされています。

そのため、

◆仲のいい猫同士では

うつることはほとんどありません。

◆避妊・去勢をして穏やかに暮らしていれば
感染の心配はごくわずかです。

それでも、たくさんの猫を飼育管理している保護施設では
健康な猫への感染を防ぐため、様々な対策をしています。

少し手がかかる子たちだからこそ、

おうちが決まったときの喜びはひとしおです！

お世話のポイント

特別な治療や食事が必要なわけではありません。
健康管理を丁寧にしてあげることが大切です。

◆定期的な健康チェック

※動物病院で定期検診を。

おうちでも口内や体重の変化を見てあげましょう。

◆完全室内飼いで、感染リスクを防ぐ

◆栄養バランスのよいごはんをあげる

◆ストレスの少ない環境でゆったり過ごす

日々の様子を注意深く観察し、
少しでも体調の変化があればすぐに対応することが
長生きの秘訣です！

さいごに

ここまで読んで、

猫エイズについて知ったあなたなら、

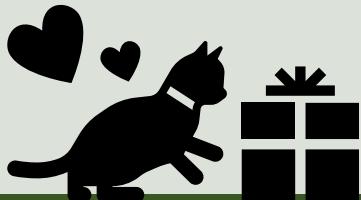
きっとこの子たちをありのままに見てあげられるはず。

特別な子たちに、特別なご縁がありますように。

元気で可愛い陽性にゃんこたちが

あなたの出会いを待っています。

ぜひ、クリスマス譲渡会へ
お越しください♪



埼玉県動物指導センター